

# 秘録太平洋戦争全史

カラー・シネマスコープ／長編記録映画

昭和十年代の地球は  
全て戦火で覆われていた  
その中で  
最も激しく最も過酷な戦いは  
太平洋で展開された  
日米の決戦であった……



監修・今 日出海

草柳 大蔵  
五味川 純平

資料提供・外務省防衛庁戦史室  
米国防総省  
構成■小笠原基生  
音楽■木下忠司  
ナレーター■江守 徹  
製作協力■東京12チャンネル  
配給■東宝株式会社



11月下旬大公開

特別鑑賞券発売中

丸の内東宝  
(211) 6088

渋谷宝塚  
(461) 8779

池袋劇場  
(971) 8361

江東リッツ  
(631) 3121

新宿文化  
(351) 3414

横浜 スカラ座  
045(641)8531





▲陸軍大将・東条英機、総理大臣に就任



▲開戦/連合艦隊司令長官・山本五十六



▲ニューギニアに戦死した日本の兵士

# カラー・シネマスコープ/長編記録映画/日本映画新社製作/東宝配給 秘録・太平洋戦争全史

## ■あらすじ

### 第1章・怒濤の章

真珠湾奇襲/マレー半島上陸/パターン、コレヒドール攻略戦/空の神兵落下傘部隊の活躍/印度洋作戦/珊瑚海海戦/東京初空襲/ミッドウェー海戦

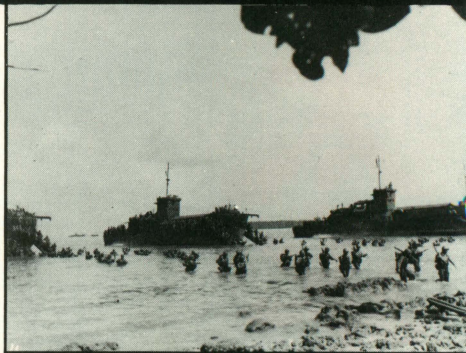
### 第2章・悲風の章

ガダルカナルの悲劇/ソロモン海の決戦/ラバウル

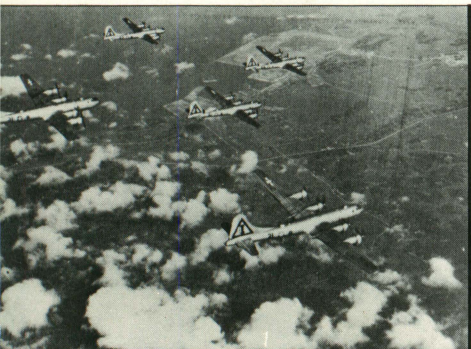
航空決戦/アッツ島の日本軍玉砕/キスカ守備隊奇跡的な撤退成功/学徒出陣/ジャングルの苦闘が続くニューギニア戦線/マキン・タラワの玉砕/インパールの悲劇/マリアナ海戦-サイパン玉砕

### 第3章・落日の章

ペリリュー島玉砕/比島沖海戦/ルソン島決戦/地獄の硫黄島/沖縄決戦/本土上空の戦/終戦



▲1919年9月、モロタイ島上陸の米軍兵士



▲日本空襲を敢行した米軍B-29の編隊



▲20年、日本軍の抵抗にあうセブ上陸隊



▲1919年10月、レイテに戻ったマッカーサー



▲マニラで処刑される日本のC級戦犯

## ■かいせつ

昭和10年代の地球は戦火に包まれていた。なかでも、250万人の犠牲者を歴史の祭壇に捧げた太平洋戦争は、日本にとって最大の悲劇であった。戦後すでに30年、この戦争が世界の歴史として客観的に語られてよい時代になりながら、いまだに断片的、あるいは一方的な記録映画しか作られていない。

「秘録・太平洋戦争全史」は、戦争中にアメリカ国防総省によって撮影された膨大な戦闘記録と、同じ戦時下、日本映画社の撮影したニュース映画、記録映画を集成したもの

である。交戦国双方の記録をつき合せ、戦争の真実を伝えるまでには、30年という長い年月が必要であった。しかし、この年月と、日米の貴重な記録によって築かれた「秘録・太平洋戦争全史」は、単なる記録にとどまらず民族の一大叙事詩となり、巨大な運命に漂い戦った人間の壮大な悲劇となっている。

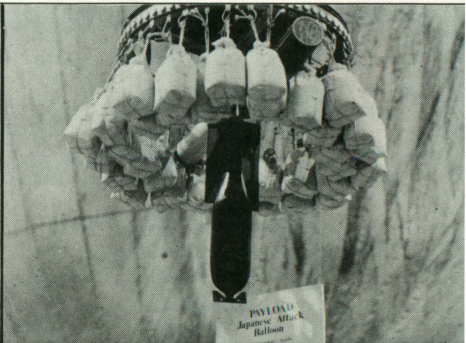
なお、この作品の素材は16ミリカラー（米国側）及び35ミリ白黒（日本側）フィルムであるが、日本映画新社、東宝技術陣の特殊技術により、大型画面化、色彩化に成功し、かつてない迫力と、迫真の臨場感をもたらしている。



▲20年8月、ミズウリ艦上の日本代表团



▲マニラ軍事法廷で裁れる山下奉文大将



▲米軍に接収された日本の風船爆弾